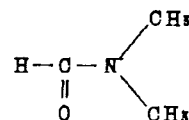


ジメチルホルムアミド
ジメチルホルムアミドの分解度試験報告書

1. 試験期間 昭和49年7月24日～昭和49年8月21日
2. 供試化学物質名 ジメチルホルムアミド (K-50)



3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号

薬 発 第 6 / 5 号

49基局第392号

微生物等による化学物質の分解度試験による

3. / 試験装置

酸素消費量自動測定機

3. 2 酸素消費量測定

3. / の記録による

3. 3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

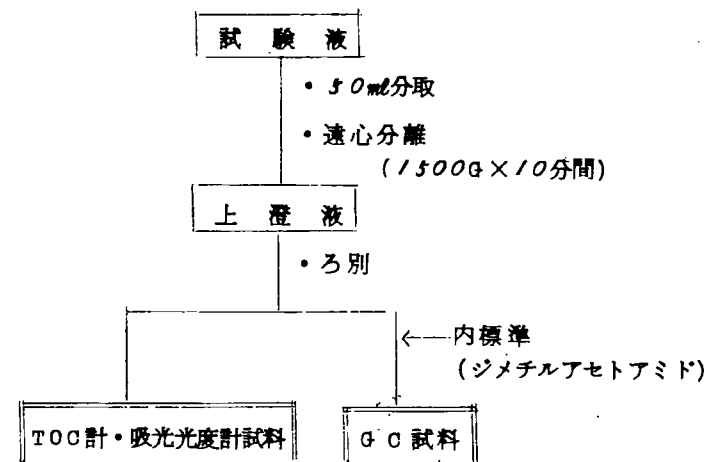
全有機炭素分析計

紫外可視自記分光光度計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(以下余白 次頁に続く)

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

○ 全有機炭素分析計 (TOC計)

流 速 TC回路 200ml/min

温 度 TC炉 900℃

○ 紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波 長 215nm

スリット幅 4nm

使用セル 10mm × 10mm

○ ガスクロマトグラフ (GC) 検出器

キャリアガス N₂ 40ml/min

充てん剤 ツーエン60 10%

ガラスカラム 2mmφ × 1m

カラム温度 220℃

(以下余白 次頁に続く)

4 試 験 結 果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	4.4	1	—
T O C 計による結果	8.8	2	1
吸光光度計による結果	3.3	3	2
G C による結果	3.6	4—6	3

(以 上)